

2024（令和6）年度 自己点検・評価報告

立正大学は公益財団法人大学基準協会による機関別認証評価を受審しており、第4期の受審は2029年度を予定しています。2024年度より内部質保証システム再構築の取り組みを開始し、自己点検・評価活動をより改善に結びつけられる仕組みづくりに取り組んでいます。これに伴い、これまで毎年の自己点検・評価結果を取りまとめ公表していた『自己点検・評価報告書』についても、その内容の見直しを行っております。今後は、新たな点検方法による自己点検・評価活動に順次着手し、2027年度以降、第4期機関別認証評価の大学評価基準に対応する自己点検・評価活動の結果をまとめ、公表する予定です。

2024年度においては、これまでの自己点検・評価活動を通して指摘されてきた課題を踏まえ、「1. コアポリシーの見直し」と「2. 内部質保証システム」の見直しを行い、今後の内部質保証のための基本的な方向性を決めました。そして、「3. 自己点検・評価活動」も、それに対応する形で、コアポリシーの在り方についての評価及び自己点検・評価活動の在り方の評価を行いました。ここで得られた点検・評価結果を踏まえ、2025年度以降の自己点検・評価活動及び内部質保証の更なる充実を図って参ります。

以下に、主な取り組み内容を報告します。

1. コアポリシーの見直し

昨年度までの自己点検評価・活動の中では、ポリシーとアセスメントの関連付けが課題とされてきました。そこで2024年度は、「三つの方針策定の基本方針」を改訂するとともに、DP・CP・アセスメント・ポリシーの一体的見直しを行い、評価可能な形でのDPの策定及びそのアセスメント・ポリシーの明示を行うとともに、DPと具体的に連動したCPの策定を行いました。

・DP・CP・アセスメント・ポリシーの一体的見直し

各学部・研究科にて、学修成果を把握するための指標を検討し、ワークシート形式で整理しました。外部講師を招いたワークショップも実施し、見直しの視点を共有しました。

・「三つの方針策定の基本方針」の改訂

全学的なポリシー見直しに伴い、「三つの方針策定の基本方針」の一部を改訂しました。

2. 内部質保証システムの見直し

コアポリシーを用いた内部質保証システムの機能性を高めるため、内部質保証システムの在り方自体の再検討を行いました。ポリシーに基づく点検方法・評価方法を整備するとともに、それをどのようなプロセス、スケジュールの中で実現していくのかという学内プロセスの構築を行いました。

・ポリシーに基づく点検方法の確立

各教育目標の領域ごとに定めた「ディプロマ・ポリシー（以下、DP）」の検証指標を整備し、カリキュラム・ポリシー（以下、CP）との関連性を明確化しました。

・新たな評価方法の検討

点検結果を定量的（グラフ等）・定性的（表形式）に可視化する自己点検チェックシートの開発に着手しました。点検主体ごとのオリジナル項目の設定も検討しています。

・点検評価活動を具体的な改善につなげる学内プロセスの構築

第4期認証評価に向けた点検体制やスケジュールの検討を行いました。

3. 自己点検・評価活動

以上のように、コアポリシーの見直しと内部質保証システムの見直しによって、今後の内部質保証のための基本的な方向性を決めました。そこで2024年度の自己点検・評価活動としては、それぞれに対応する形で、自己評価委員会によるコアポリシーの在り方についての評価及び、外部評価委員会による自己点検・評価活動の在り方の評価を行いました。ここで得られた点検・評価結果を踏まえ、2025年度以降の自己点検・評価活動及び内部質保証の更なる充実を図っていきたいと考えています。

・自己評価委員による点検・評価

立正大学における学内第三者委員会である立正大学自己評価委員による自己点検・評価活動を行いました。2024 年度は、当該年度に見直しを行った全学及び各課程別のコアポリシーについて、位置づけや内容について評価を行い、いずれも適切であることを確認するとともに、今後も継続的な検証・見直しを行うことの必要性が提言されました。

・外部評価委員会による点検・評価

学外の学識経験者・有識者等による立正大学学部評価委委員会を組織し、自己点検・評価活動を行いました。「内部質保証システムを支える自己点検・評価の在り方の検討」をテーマとし、7 名の委員との意見交換を行い、認証評価のみを見据えた自己点検・評価活動ではなく、社会に対して立正大学の取り組みや特徴をわかりやすく伝えるとともに、その上で求められる継続的な改善活動の実質化に向けた自己点検・評価活動の在り方を模索していくことの必要性が提言されました。

4. その他の取り組み

その他、2024 年度に実施した自己点検・評価活動に関わる取り組みは以下の通りです。

・改正「授業アンケート」実施

従来の「授業改善アンケート」の設問を見直し、科目レベルだけではなく教育課程レベルでの評価が可能な設問に変更し、「授業アンケート」として実施しました。

・外部有識者との意見交換会の開催

外部有識者を招き、2024 年度より新たに開設した全学キャリア教育科目である、「ライフ・キャリア概論」「キャリア・デザイン入門」の授業内容や効果測定をもとに、社会が求める人材像について意見交換を行いました。

・FD 活動実施に関する方針の策定

立正大学 FD 委員会及び立正大学大学院 F D 委員会の廃止（2023 年度）に伴い、今後の FD 活動の指針となる方針を策定しました。